

その他の生物②

採取できたら ☐ に
チェックを入れていこう!

アカミミガメ ☐



甲長12~28cm。子ガメはミドリガメと呼ばれ、ペットとして飼われていたものが逃げ出して野生化したものです。

クサガメ ☐



切れ込みがない

甲長10~25cm。イシガメとの区別は、甲羅のへりに切れ込みがありません。

ガガンボのなかま ☐



幼虫

多くの種類を持ち、和名に「ガガンボ(大蚊)」と「カガンボ(蚊のおばけ)」があるそうです。

モクズガニ ☐



川の上流から河口までの範囲ですみ、産卵は海で行われ稚ガニは海で育った後、川をのぼります。甲幅は、約8cmで、つめは毛でおおわれています。

キイロカワゲロウ ☐



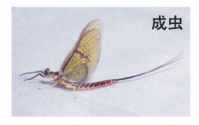
成虫



幼虫

体長約20mm。流れの緩やかな川底にすみ、えらは6対あり、羽毛状です。

モンカゲロウのなかま ☐



成虫



幼虫

体長約20mm。細長く、円筒形です。尾は3本で、長毛が密生しています。

シロタニガワカゲロウ ☐



成虫



幼虫

体長約12mm。尾の長さ15mm。頭部は大きく、前後に4個の小円紋があります。

チラカゲロウ ☐



成虫



幼虫

体長約20mm。前足の長い毛でソウ類やゴミをこし取って食べます。

ゲンゴロウのなかま(幼虫) ☐



ブルーにすむものは、さなぎになるための土手がないために、溺死する場合があります。

コオイムシ ☐



体長約20mm。卵は雄の背中、約2週間から1ヶ月で孵化します。

ナベバタムシ ☐



体長約9mm。水中で一生涯を過ごします。トビケラの幼虫など、昆虫の体液を吸います。

モンキマダゲンゴロウ ☐



体長約8mm。背面に黄色の斑紋があります。成虫はほぼ1年中見られます。

さかなの仲間たち

採取できたら ☐ に
チェックを入れていこう!

メダカ ☐



全長約3~4cm。流れのゆるやかな所に生息し、水面近くで群れをなして泳いでいます。

ハゲギギ ☐



全長約30cm。胸びれのとげとそのつけねの骨を使って「ギーギー」と音を出すところからこの名がつけました。ふつう、ギギと呼ばれています。

ギンブナ ☐



全長約25cm。雑食性で、川底にすむ動物や藻なども食べます。ほとんどメスしかおらず、メスだけで繁殖することでも有名です。

カマツカ ☐



全長約20cm。平らなお腹をしています。口ひげが1対あり、唇のまわりに小さな突起があります。砂や小石が混じる川底にすんでいます。

カワヨシノボリ ☐



全長約6cm。小石の多い場所を好みます。腹びれが吸盤のようになっています。

ムギツク ☐



全長約15cm。石の間から、好物の水生昆虫をつつくように食べます。他の魚に卵をあずけて育ててもらった「托卵(たくらん)」を行うことでも有名です。

ドジョウ ☐



全長約12~18cm。口ひげが10本あります。細かい砂や泥の川底にすんでいます。ときどき水面に顔を出して空気を吸い、腸からも酸素を取り入れることができます。

モツゴ ☐



全長約8cm。口は受け口で小さく、いわゆる「おちょぼ口」です。中・下流域のよどみやため池にすみ、少々汚水でも生きることができます。

オイカワ ☐



全長約15cm。中・下流域に広くすんでいますが、特に浅くて流れのあるところを好みます。

カワムツ ☐



全長約15cm。中・下流域に広く分布し、特に流れのゆるやかな深みを好みます。雑食性で、流下する昆虫や底生動物を中心に、石についた藻なども食べます。

ドンコ ☐



全長約25cm。体の色はまわりの環境によって、濃い色からうすい色まで変化します。流れのゆるやかな場所の岩のすき間や水草の茂みにじっとしています。

シマドジョウ ☐



全長約8~12cm。口ひげが6本あります。体側に、斑点があるのが特徴で、すむ川ごとにその模様がちがいます。